

交流が活発なヘイズ銀座の様子



内藤裕士氏はモデルをつかってメイクを実演

このサロンの運営は、ビジネスというよりも自分の思いを実現するために進んでいるという平田氏は、目を細めながらこの会の進捗を見守っていた。

マンアカデミー横浜校で講師としても活躍するひらがらP事務所の平賀初枝氏、メイクの講習会を開催しているP.E.T.T.Tの内田裕士氏がプレゼンターを務めた。参加者は約200名、同サロンの会員以外にも、起業を志している人や東京進出を考えている福岡の企業の経営者も参加し、会に活気を与えていた。

重要性を広めたいと力説。実際にアメリカの学校で使用されている教科書を用いながらのマネジメント能力の重要性の説明は、金融の知識がない人にとってもわかりやすいと好評を博していた。小学生に対して講義を行うこともあるという平賀氏の話に、「同一幼年期からの教育にマネジメントに関する内容を教えるべき」と賛同していた。

「同じマインドを持つもの同士が、同じ場に集まれば自然とお互いにとって意義ある交流が図られるのです。それがヘイズ銀座の根拠です。交流会はいつも活気あるものになりますよ」

第3回ヘイズビジネス交流会

ヘイズ銀座 チェアマン 平田彰彦氏

意気投合

人と人が出会う「場」の提供で 個の力を養う起業家洗練の会

起業という働くスタイルをとる人たちが増えている。それと連動する形で起業家を支援するための場であるインキューションオフィスをよく見かけるようになった。しかし、施設の増加とともに競争も激化し、各社とも付加価値の創造に頭をひねっている。そんな現状の中で、「人の交流」を付加価値として人気を得ているヘイズ銀座の様子を見てみよう。起業家同士が「出会い」によって、さらにたくましくなっていく姿がそこにはある。

起業して間もない経営者は人脈や情報を欲しているもの。周りに起業家の先輩がいれば幸運だが、いない人はどうすればいいのだろうか？ そんな人たちのためのインキューションオフィスがある。

銀座三丁目、華やかな通りから一本入ったところにあるのがビジネスサロン「ヘイズ銀座」。

「弊社はただ場所貸しをするレンタルオフィスではありません。オフィス利用はもちろんですが、そこに人の交わりがあつて初めてうちの価値が出てくるのです」

同サロンのチェアマン・平田彰彦氏がこう語るとおり、ヘイズ銀座の会員の交流は活発だ。平田氏がおせっかい役として紹介する以外にも定期的に会員同士の交流の場が開かれている。去る一月二十五日にも三日目のビジネス交流会が開催された。

「講師」平賀氏をモデルにプロの技を実践。メイクを施す際のモデルのイメージと離れた後のイメージを参加者に比較してもらい、化粧による印象の違いをわかりやすく教えていた。

発表の時間が終わっても参加者の議論は収まらず、予定の時間をオーバーして第二部は終了。活気を持ち越し、交流会の会場となる隣の居酒屋へ移動した。

同サロンの新年会もかねた交流会は、ビジネスの話題はもちろんのこと、動物占いを聞いたセラピーの話で盛り上がり、それぞれ誕生日を聞き合う光景も見られた。

「同じマインドを持つもの同士が、同じ場に集まれば自然とお互いにとって意義ある交流が図られるのです。それがヘイズ銀座の根拠です。交流会はいつも活気あるものになりますよ」

このサロンの運営は、ビジネスというよりも自分の思いを実現するために進んでいるという平田氏は、目を細めながらこの会の進捗を見守っていた。



チェアマン・平田彰彦氏

